

闘争開始宣言（案）

「月例賃金の引き上げ」と「すべての労働者のための働き方改革の実現」を核とした2019 春季生活闘争がスタートする。

景気回復期間が戦後最長となるなか、依然として実質賃金は改善されておらず、個人消費は伸び悩み、私たち労働者は景気回復を実感できていない。

「経済の自律的成長」と「社会の持続性」を実現するためには、「人への投資」による消費の拡大が欠かせない。加えて、あらゆる格差の是正をはかるためには、労働組合の有無などにかかわらず、一人ひとりの働きの価値が重視され、その価値に見合った処遇が担保される社会を実現していかなければならない。そのためにも連合山形は、賃金の「上げ幅」のみならず「賃金水準」を追求する闘争を強化していく。2019 春季生活闘争はその足がかりを築いていく年である。

さらに、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」を実現するためには「取引の適正化」が極めて重要である。その重要性を労使協議はもとより、あらゆる機会を捉えて発信し社会全体に広く訴えていく。

働き方改革関連法の施行が目前に迫るなか、連合山形は36協定締結促進のためのキャンペーン「Action! 36」を展開し、広く県民に訴え世論喚起を図っている。

人材の確保や定着のためにも職場の基盤整備が従来以上に重要課題となっているため、長時間労働の是正や同一労働同一賃金の実現に向けて、法令遵守はもとより、労使で知恵を出し合い、労働者の立場にたった働き方が選択できる仕組みを作ることが必要である。

今、「働くことを軸とする安心社会」を更に深化させることが求められている。連合山形をはじめとする構成組織全体が総がかりで行動していこう。最後の最後まで粘り強く闘い抜くことを誓い合い、ここに2019 春季生活闘争の開始を宣言する。

2019年2月13日

連合山形「2019 春季生活闘争キックオフ集会」